

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和4年5月6日(2022.5.6)

【公開番号】特開2022-16531(P2022-16531A)

【公開日】令和4年1月21日(2022.1.21)

【年通号数】公開公報(特許)2022-011

【出願番号】特願2021-185623(P2021-185623)

【国際特許分類】

H 01 L 27/10(2006.01)

10

H 01 L 21/8242(2006.01)

H 01 L 27/1156(2017.01)

H 01 L 21/336(2006.01)

【F I】

H 01 L 27/10 431

H 01 L 27/108321

H 01 L 27/1156

H 01 L 29/78 371

【手続補正書】

20

【提出日】令和4年4月22日(2022.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のトランジスタと、第2のトランジスタと、第3のトランジスタと、第4のトランジスタと、を有し、

30

前記第1のトランジスタのソース及びドレインの一方は、前記第2のトランジスタのゲートに電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのソース及びドレインの他方は、前記第3のトランジスタのソース及びドレインの一方に電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのソース及びドレインの他方は、前記第1のトランジスタのゲートに電気的に接続され、

前記第2のトランジスタのソース及びドレインの一方は、前記第4のトランジスタのソース及びドレインの一方に電気的に接続され、

前記第3のトランジスタのソース及びドレインの他方は、第1の配線に電気的に接続され、

40

前記第2のトランジスタのソース及びドレインの他方は、第2の配線に電気的に接続され、

前記第4のトランジスタのソース及びドレインの他方は、第3の配線に電気的に接続され、

平面視において、前記第1のトランジスタのチャネル長方向は、前記第4のトランジスタのチャネル長方向に沿う方向であり、

平面視において、前記第2のトランジスタのチャネル長方向は、前記第3のトランジスタのチャネル長方向に沿う方向であり、

平面視において、前記第1の配線及び前記第2の配線は、同じ方向に延伸されている領域を有し、

50

平面視において、前記第1の配線及び前記第2の配線は、前記第1のトランジスタのチャネル長方向及び前記第4のトランジスタのチャネル長方向と異なる方向に延伸されている領域を有する、半導体装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記第1のトランジスタは、チャネル形成領域に酸化物半導体を有する、半導体装置。

10

20

30

40

50